



ロスカット未収金発生状況報告

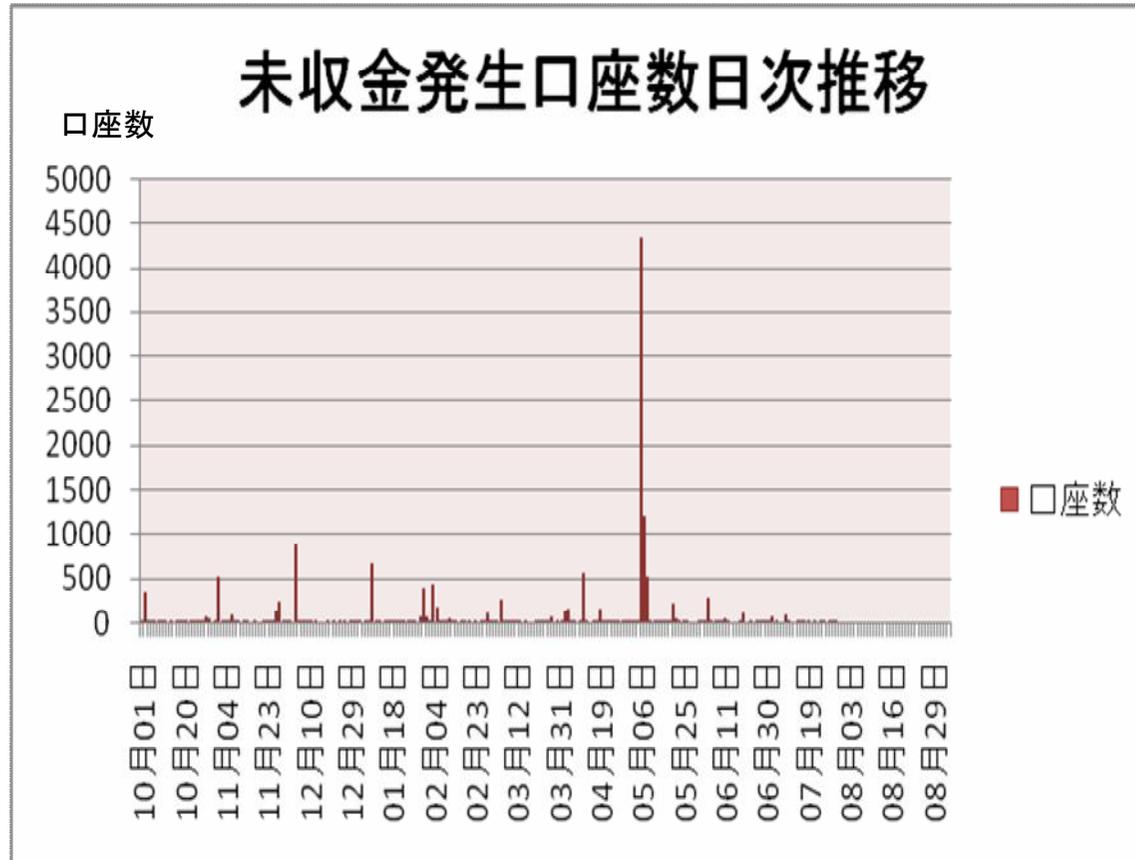
(平成21年10月から平成22年8月まで)

平成22年9月3日

社団法人 金融先物取引業協会
調査部



未収金発生口座数日次推移 (平成21年10月～平成22年9月3日)



【調査開始から現在 までの発生状況】

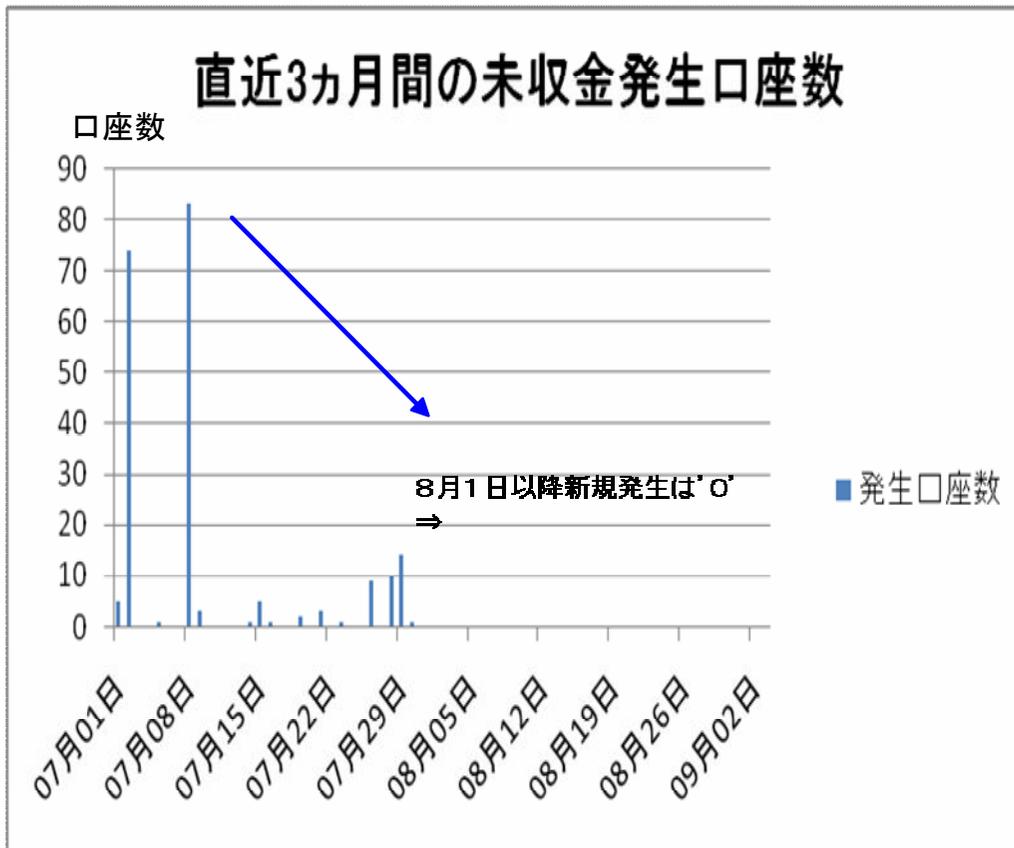
(平成22年9月3日 現在)

1. 発生報告件数
933件
2. 発生口座数
12,736口座
3. 発生未収金総合計
668,903,275円



直近3カ月間の未収金発生状況(口座数)

【レバレッジ規制開始(8/1)から、発生ゼロ記録更新中】



【一日の平均発生件数】

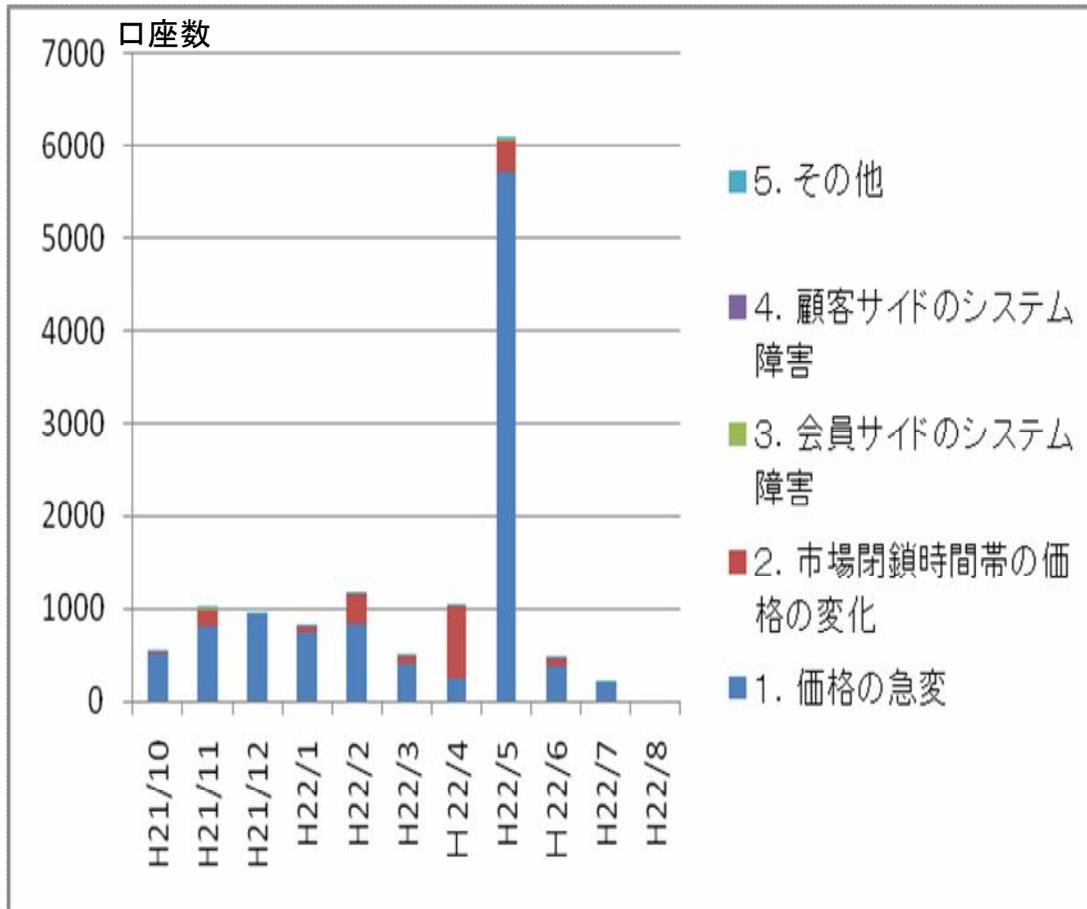
レバレッジ規制対応を、前倒し実施された効果で、既に7月から減少傾向は顕著

- 平成22年4, 5, 6月の一日平均
116.7件/日(稼働日)
- 平成22年5, 6, 7月の一日平均
119.5件/日(稼働日)
- 平成22年6, 7, 8月の一日平均
10.3件/日(稼働日)



発生原因別未収金発生口座数(月次)

平成22年9月3日現在



発生原因	口座数
1. 価格の急変	10,734
2. 市場閉鎖時間帯の価格の変化	1,926
3. 会員サイドのシステム障害	29
4. 顧客サイドのシステム障害	0
5. その他	47
総計	12,736

・5月の未収金大規模発生の原因は、ニューヨーク市場で株式の大規模な誤発注による為替相場の想定以上の乱高下である。

これを原因とした『価格の急変』による未収金発生を5,699件記録した。